

磐城時報

福島縣磐城郡平町細屋町十四
印刷所 加納活版所
印刷部 加納活版所
福島縣磐城郡平町細屋町十四
發行所 磐城時報社
電話 一〇一
廣告料 一行十四字 日金五拾錢
日刊 日曜 祭日 休刊

齋藤氏の所有地は 収容法を適用せよ

未解決の第三校敷地

平町第三小學校の敷地埋立工事店に開き十一日、十二日兩日平も大体終了し工費四万五千八百第一小學校に開き本會議に提出五圓五十錢を以て既に建築工事すべき議案について打合せをなして着工してゐるが、平町字立町から平第一小學校に開き、齋藤繁藏氏の三反歩（九百坪）の敷地が地主の不承諾で今以て頑張り続け最大難物となつてをり何回となく委員から手を換へ品をかへ交渉を續けてゐるが更に應諾の色なく町當局も困却し同町共済病院隣の町有地二百卅八坪と交換してはと持かけたがこれ亦交渉進まず町當局も交渉委員も大弱りの体である、如何に該土地が敷地の一隅で運動場に位置し校舍建築上には何等の支障なきとは言へ町當局も余りの弱腰であり今に土地収用法に則して全町をあげて猛運動を開始せざる有耶無耶の有様で解決をつけぬは氣の知れぬことであるから此際断然土地収容法により収容すべしと叫ぶものが多くなつて來た。

鐵道省技手來郡し 平小鐵道について實査

工事着手の前提地であること 地方 民 大喜び

石城郡小名濱町では商港が緊縮三十名出席緊縮の件について打合せをなした。

四倉市場取引

兩市場十日取引は三百六十貫、最高七圓二十錢、最低五圓十錢、平均六圓五十四錢であつた。

九月成績

四倉驛に於ける九月中の貨物發送数はセメント一萬三千四百二十二噸、鮮魚二百五十二噸、其他九百九十七噸に男子を分脱したのでキミ方にては當然正一の子として、昨年九月より七百五十八噸の増認知方を請求したが正一の方では日が少し早いからとてこれを拒み紛争中。

郵便局長會

濱三郡 濱三郡三等郵便局長より成る東部郵便局長會役員會は十日午前倉町經濟緊縮委員會は十一日午後四時から同町小學校に開き百

として政府の緊縮政策に伴ふ年金、保險、貯金募集の件であつて、此際出來得る限り募集に努力する事になつた。

植田青年幹部會

城郡第一方面即ち植田町外一町八ヶ村聯合青年團幹部大會は來る十四日午前十時より植田小學校に開催されるが團員の意見發表の後午後同校内に縣社會課主催の教化緊縮講演會があるのなして協議に移つたが協議は主として同聽講の筈。

刑事會議

濱三郡警察署刑事會議は十一日警察署に開かれたが縣刑事課から菊地警部補出席諸般の打合せをなした。

組頭披露會

大浦村消防組頭賀澤惣三郎氏及組頭代理鈴木傳氏の二氏は近く四倉新町旭館に於て新任披露會を行うと

教化動員講演會

四倉町教化總動員講演會は十二日午後一時から同町小學校に開くと

前夫を訴ふ

石城郡勿來町大字酒井字竹ノ内農渡邊六之助味キミ子（一九）は昨年十二月同町字外城の平山信次郎長男正一（二三）の許に嫁したが僅七十五日程で家庭の不和から實家に歸つて居た處十月七日に男子を分脱したのでキミ方にては當然正一の子として、昨年九月より七百五十八噸の増認知方を請求したが正一の方では日が少し早いからとてこれを拒み紛争中。

歸らぬ父を尋ねて 進退きわまつた親子 自殺間際に救ひの女神

その女神は片倉の女工か？ 平署に届いた信じられない手紙

十一日午前九時頃「平警察署おれが今仙臺に行つたと言はれたので、仙臺に行きますともうお金は一錢もございませぬ、それに父の居所も判りませぬ、宿に泊る事も出来ず仙臺のお薬師さまの堂の下に泊り置は當てもなく物を貰ひ乍ら父のありかを町から町へ尋ねて参りましたが容易に判りませぬ、母も老年の身で且つ長い間の苦勞で到々病に胃も今は死ぬまゝ外途がなくなりました父の幸福を神に祈り二人で死を覚悟し細紐で母は私の首をしばり、私は母の首をしばつて二人で目に手拭ひをかけしばらくとしますと神様のお助けか、いつの間にか目かくしを取られ、首にかけた細紐もとられ、驚いて後を見たら立派なお嬢さまが身に錦紗の着物を裾襷の羽織を着て片袖にはトランクと錦紗の袋を下げて現はれ、右の方には赤いきつが、顔の圓顔な眉毛の長い、鼻の高いやさしい神様のやうな人でした、私共の死ぬ事情をおき、下された上「私はこれから平町に行くのでお薬師さまに寄つた處、人助けが出来てよかつた」と申され母さまには薬をのませ持合せのお辨當を下され、その上持合せのお金である蓋口から十五圓下のさいました、そして又着ておた着物三枚を脱いで下さいました、そしてお嬢さま自身はトランクの中から着物をだし

タイサン錠

痔の高級内服薬 平五 山野邊藥局

て着た上「もう仕方がないからあきらめて國に歸らなさいとして御國のために忠孝をお盡し下さい、そのうちには神様は立派にお父さまをおかへしになり幸福を與へて下さいます」と言つて其處を消えやうに立去りました、私共は其後一日としてあの女神さまのお姿を忘れた事がございませぬ、お嬢さまの言ふ通り秋田の家に歸りましたら、母さまは長い間の苦勞で病ひの床につき十月の一日に死んでしまひました、死ぬ時「助けられたお嬢さまに何とかしてこの赤の布を差し上げてくれれば何よりの御禮だ、これは母さんがこの家に嫁に來る時家から貰つて來たもので、お嬢さまは福島の平に行くとおっしゃつたから平に行

つて探した上渡してくれ」と言つて死んでゆきました。私は母に言はれた通り平町に來て食になつてお嬢さまを探しましたが見附かりません、八日目の朝早く起きて飯野八幡神社にお参りに行く、神様のお引合せか、嘗てお嬢さまに貰つた着物の中に書類が入つてゐました、これはあの女神さまの手に相違ないと思つて見ました私には讀めませんが、そこでお役人さまにお願ひしますからどうかこれをあのやさしい神様に私等の心を傳へてお渡し下さい、私もこれから秋田には歸らず廣い日本をお父さんを尋ねて行きます、さうしてお父さんを尋ね御國のため盡します、どうか厄介者ですが哀れなものご御察し、願ひを聞いて下さい、あはれなこのしづより

お役人様

激減した常磐の貯炭 出炭制限徹底か

好轉を豫想さるゝ常磐礦

常磐各炭礦では炭價を維持し此の不況を切り抜ける策として昨年引續き出炭並に出炭の制限を實行し自由競争を避け、炭價の恢復に向つて共同戦線的態度を持続して来た結果最近では山と積まれた貯炭も殆んど整理され需要期を前にして此の制限を廢止し一大飛躍をなすものと見られてゐたが、常磐各炭礦の經營者から組織されてゐる木曜會では去る七、八の兩日に亘つて常磐各炭礦に於ける貯炭の現状について調査をなした、其の結果貯炭も相當減じて居り石炭の需要も増加して来た際であり本月下旬頃から従来の出炭並に送炭の制限を變更する事にする模様である、不況に悩まされて居た常磐炭礦界もの制限の變更に依る出炭増、送炭増に依つて好轉するものと豫想されてゐる

喜多素諾會 平町喜多流

流流曲稽古會にては十一日午後六時より平町古鍛冶町山崎與三郎氏宅に於て素諾會を催すが番組左の如し。

▲羽衣巴 ▲鬼界島

三人殺しを速捕するまで

小田部警部(寄)

(十一)

十、痴情關係
被害者千萬吉の情婦關係及妻キクノに對する情夫關係に就き捜査するに、千萬吉は會て

江戸前季節 烏松 たけ 鰻

料 理

平町南町平館隣り
電話四二四番

貸家案内

仲間町	同	同	同	同	同	同	同	同	同
白銀町	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五丁目	同	同	同	同	同	同	同	同	同
白銀町	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五丁目	同	同	同	同	同	同	同	同	同

人は板谷の東谷喜代治方にて將棋をさし遊びたる爲め、豫定の汽車時間に遅れ、夜間終列車にて庭返に至りたる事實明かとなり、更に容疑の点なきに至れり、其他の炭礦仲間には被害者とは親密の間柄にして、事件の原因即ち怨恨と認めべきもの更に発見せられずも何等得る所なし。

十三、兇器の出所に就き捜査するに、唐鍬及び負棒共被害者方のものと判明したり、何れも現場に遺棄しあり。

十四、其他證據蒐集に努めたるも足跡、指紋は勿論、何等證據等更に無し。

十一日替り 痛快なる陣容

人氣王嵐寛壽郎心血傾注特作
大村 鬼神之血煙
錦糸堀の悪たれ旗本此村大吉が一世一代左及縦横剣の舞

東京大阪朝日新聞所載小説
澤田敬之助主演

松平長七郎 道中
マキノ青年派助演大作
藤間林太郎、高津愛子主演

正喜劇 眞心

天下無敵學生ロマン
大活躍 大學生 第二篇
ジョー・チルイス主演

大帝キネネ大好評噴々篇
當り狂言明石線郎益々佳境

帷隨院復讐篇
オールスターキヤスト

此の大番組で 有聲座
料金普通

佛國マルソー會社元詰

生葡萄酒

マルソー・ブランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤

良品にして安價買行飛ぶが如し

西村屋藥局

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

牛豚肉廉賣

秋みみのる秋!! 肥ゆる秋!!!
愈々食肉のシーズンには来る
精力と体力の増進を計るは今!!!

牛	中	肉	百	金	二	五	錢
同	上	肉	同	金	四	五	錢
同	中	肉	同	金	六	十	錢
同	上	肉	同	金	八	十	錢
同	中	肉	同	金	一	五	錢
同	上	肉	同	金	四	十	錢
同	中	肉	同	金	五	十	錢
同	上	肉	同	金	六	十	錢
同	中	肉	同	金	六	十	錢

平 驛 前(元平劇場入口)
電話五二四番

耳鼻咽喉科 専門

氣管食道科 専門

病室完備...自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

深谷牛豚肉店

電話五二四番

科外 門專

X光線科

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

肺病助膜 専門藥

不バ錠

▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。
▲説明書密送す、御申込あれ。

代理店 平町南町 山野邊藥局
五丁目角

條田實師 大一行

各地共入場料(平士間金八十錢)
巡業先々興行地契約済に付右の日取より絶對日延なし
特別割引券、前賣券は、平町 聚樂會館
各商店に有升

當る十月十四日(一日限り)午後五時開演
當日は遠地より乗込に付町廻り致しません

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平屋五〇七番

栗守酒

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒

朝の一盃は精力の原、晩の一盃は休眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)